

GRAPHTEC

Cutting Master 2 ユーザマニュアル

バージョン 1.00

目次

概要	1	出力デバイス設定の変更	20
ソフトウェアの使用	1	出力デバイス設定の編集	20
サポートされるアプリケーション	1	テスト用輪郭カットジョブの出力	21
インストールと設定	2	Cutting Master 2 からのジョブの出力	22
必要システム構成	2	ジョブのファイルへの保存	22
ソフトウェアのインストール前の準備	2	ファイルからの保存済みジョブのロード	22
ソフトウェアのインストール (Windows)	2	ジョブのカッターへの送信	22
ソフトウェアの削除 (Windows)	3	ジョブの処理の中断	23
ソフトウェアのインストール (Macintosh)	3	ジョブの削除	23
ソフトウェアの削除 (Macintosh)	3	Cutting Master 2 を使用した輪郭カット	24
出力デバイス設定の作成	4	仮想プリント&カット出力用のジョブのデザイン	24
環境設定マネージャの使用	4	印刷ジョブへのトンボの追加	24
環境設定セットの保存	4	トンボの自動追加	25
環境設定セットのロード	4	長方形の囲み枠のトンボによる置換	26
ソフトウェアの初期状態への復元	4	トンボの削除	26
環境設定マネージャの終了	4	デザインの印刷部分の出力	26
デザインアプリケーションでのジョブの作成	5	印刷されたメディアのカッターへのロード	26
デザインの作成のガイドライン	5	輪郭のカッターへの出力	27
カット・プロット画面の設定	5	索引	28
数値の入力	6		
ビルトイン計算式の使用	6		
入力値および計算式の自動適用	6		
ジョブプロパティの設定	7		
一般タブのプロパティの設定	7		
レイヤータブのプロパティの設定	9		
分割タブのプロパティの設定	12		
詳細タブのプロパティの設定	16		
Cutting Master 2 へのジョブの送信	17		
Cutting Master 2 からのジョブの出力	18		
Cutting Master 2 の基本要素	18		
表示フィールド	18		
ツールバー	18		
アプリケーションの環境設定	18		
Cutting Master 2 での出力デバイス設定の作成	19		
最初出力デバイス設定の作成	19		

ソフトウェアの使用許諾書

以下の記載事項すべてに目を通し、内容をよく理解してください。

これは、お客様(個人または法人)と Scanvec Amiable, Inc. との間の契約書です。以下の条項に同意されない場合には、ソフトウェアパッケージを速やかにご返品ください。本ソフトウェア製品を使用することにより、お客様は以下に示される条項、条件に同意されたものとみなされます。

パッケージに含まれるコンピュータプログラム(「ソフトウェア」)は、Scanvec Amiable およびそのサプライヤーの所有物であり、本ソフトウェアの構造、編成、コードは Scanvec Amiable およびそのサプライヤーの業務上の重要な機密事項にあたります。

1. ライセンス

本ソフトウェアは米国および日本国の著作権法ならびに国際条約の保護を受けており、書籍その他の著作権物と同じに扱わなければならない性質のものであります。本ライセンスはお客様に以下の権利を許諾します。

(a) ソフトウェアのバックアップ用に複製を1つ作成することができます。ただし、本ソフトウェア上またはその中に明記されている著作権表示その他の財産権の表示と同じものを含めなければなりません。

(b) 第三者が本契約の諸条件について書面により同意した場合、本契約に基づくお客様の権利を当該第三者に譲渡することができます。

(c) ソフトウェアが一度に一台のみのコンピュータで使用される限り、ソフトウェアを他のコンピュータへ移動することができます。「使用」とは、コンピュータの一時メモリ(RAM)、または固定メモリ(ハードディスク、CD-ROM)で起動された状態を表します。

2. 制限事項

ソフトウェアのコピーを他人に配布したり、ネットワークを介してコンピュータ間でソフトウェアを電子的に転送することは禁じられています。本ソフトウェアの逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブルは禁じられています。本ソフトウェアまたはその一部の、変更、貸与、賃貸、利益目的での転売、販売、ネットワーク化、および、それらを基にした派生的製品の作成は、禁じられています。

3. 契約の終了

お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときまたは弊社の著作権を侵害したときは、弊社は本契約を解除しお客様の使用を終了させることができます。本契約が終了または解約された場合、お客様は速やかにご自身の負担で、ソフトウェア、ドキュメンテーション、ソフトウェアの全てのコピーを Scanvec Amiable へ返却する必要があります。

4. 輸出の規制

本ソフトウェアは米国輸出管理法またはその他の輸出規制法、規制または規則で禁止されている国に出荷、譲渡または輸出されることがなく、またはそれらの法令で禁止されている形で使用されることがないものとします。

5. 責任の限度

Scanvec Amiable またはそのサプライヤーはいかなる場合にも、付随的、派生的または特別の損害に対して、たとえ販売店がその種の損害が発生する可能性について通知を受けていたとしても、いかなる責任も負いません。SCANVEC AMIABLE, Inc.では、本ソフトウェアに関して、明示もしくは黙示のものも含め一切の保障は提供せず、特定の目的に対する商品性または適合性の黙示保証はすべて否認するものとします。Scanvec Amiable はドライバ(プロッタ、スキャナ、プリンタ)を一切保証しません。これらのドライバは、お客様へのサービスとして提供しており、メーカーより提供された資料に基づき開発されたものです。

Scanvec Amiable はソフトウェアまたはドキュメンテーションを運用した結果の影響については、責任を一切負いません。

6. その他

本ソフトウェアが米国政府のエンドユーザーにより使用される場合は、本契約書は"RESTRICTED RIGHTS"(制限付権限)のみを示唆するものとし、その使用、開示、複製に関しては「Federal Acquisition Regulations」(連邦調達規則)の 52.227-7013(c)(1)(ii) が適用されます。本契約は法の抵触に関する原則の適用を除いて、アメリカ合衆国ペンシルバニア州の法律を準拠法とします。本契約の一部が無効で強制力を持たないと判明した場合でも、本契約の残りの部分の有効性はその影響を受けず、引き続き有効で、そう条件に従って強制力を持ち続けるものとします。

© Copyright 2006 by Scanvec Amiable, Inc. All rights reserved.このソフトウェアおよびドキュメンテーションの一部または全部を無断で使用、複製することは禁止されています。Printed in the United States of America.本ソフトウェアの仕様、およびドキュメンテーションに記載されている事柄は、将来予告なしに変更されることがあります。

Acrobat® Reader Copyright© 1987-2006 Adobe Systems Incorporated.All rights reserved.Adobe および Acrobat は Adobe Systems Incorporated の商標です。ただし、一部地域では商標登録されている場合もあります。PostScript® software Copyright© 1984-1998 Adobe Systems Incorporated.All rights reserved.

Flexi、FlexiFAMILY、FlexiSIGN-Pro、FlexiSIGN Plus、FlexiEXPERT、FlexiSIGN、FlexiLETTER、FlexiDESIGNER、FlexiCUT、FlexiENGRAVE、PhotoPRINT Server、PhotoPRINT、PhotoPRINT SE、EnRoute-Pro、EnRoute Plus、EnRoute、EnRoute-Machine Shop およびその他の Scanvec Amiable, Inc. の製品は、Scanvec Amiable, Inc. の商標または登録商標です。Illustrator は Adobe Systems Incorporated の登録商標です。FreeHand は Macromedia, Inc.の登録商標です。CorelDRAW! は Corel Systems Corporation の登録商標です。AppleTalk、ImageWriter、LaserWriter および Macintosh は Apple Computer, Inc. の登録商標です。Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。Adobe® は Adobe Systems Incorporated またはその子会社の商標です。ただし、一部地域では商標登録されている場合もあります。PostScript® は Adobe Systems Incorporated またはその子会社の商標です。ただし、一部地域では商標登録されている場合もあります。

SA International
International Plaza Two, Suite 625
Philadelphia, PA 19113-1518

概要

Cutting Master 2 を使うと、デザインアプリケーションから直接カッターに出力できるようになります。

このソフトウェアは、次の 2 つの要素から構成されます。

- カット・プロットプラグイン - デザインアプリケーション内でのカットジョブのジョブプロパティの設定と、ジョブの Cutting Master 2 への送信を可能にします。
- Cutting Master 2 プログラム - カット・プロットプラグインからジョブを受信して、カッターへ出力します。

ソフトウェアの使用

Cutting Master 2 を使ってジョブをカッターに送信するには:

1. デザインアプリケーションでジョブを作成します。
2. 必要に応じて、トンボをデザインに加えます。
3. 「カット・プロット」画面を開きます。
4. 「カット・プロット」画面でジョブプロパティを調整します。
5. ジョブを Cutting Master 2 に送信します。
6. Cutting Master 2 を使ってジョブをカッターに送信します。

サポートされるアプリケーション

Windows では、Cutting Master 2 は次のデザインアプリケーションをサポートします。

- Corel CorelDRAW 10、11、12、X3
- Adobe Illustrator 8、9、10、CS、CS2

Macintosh では、Cutting Master 2 は次のデザインアプリケーションをサポートします。

- Adobe Illustrator 10、CS、CS2

インストールと設定

ソフトウェアをインストールする前に、以下の必要ハードウェア構成を参照してください。ソフトウェアの性能を十分引き出すためには、少なくとも以下の構成が必要となります。高速なプロセッサとハードディスクを使用し、メモリをより多く搭載することで、より大きなファイルを処理することができ、処理速度を向上することができます。

必要システム構成

	Windows	Macintosh
プロセッサ	Pentium III 600 MHz 以上	G4 以上
メモリ(RAM)	256 メガバイト(MB) 以上	
インストールに必要なディスク空き容量	100 メガバイト(MB) 以上	
OS	Windows 98SE & ME Windows 2000 & XP	OSX 10.2 以上
ビデオ	解像度: 800x600、16 ビットカラー	
その他	4 倍速 CD-ROM または DVD ドライブ	
	出力デバイス用のポート	
	インターネット接続	

ソフトウェアのインストール前の準備

ソフトウェアをインストールする前に、次の操作を行う必要があります。

- すべてのデザインアプリケーションをインストールします。
- カッターに必要となる USB ドライブなどの追加ドライバをインストールします。
- カッターを GPL モードで動作するように設定します。詳細については、カッターのマニュアルを参照してください。

ソフトウェアのインストール(Windows)

Cutting Master 2 をインストールするには:

1. 本ソフトウェアの旧バージョンをすべてアンインストールします。
2. インストーラ CD を CD-ROM ドライブへ挿入します。
3. インストーラの言語を選択して「OK」をクリックします。
4. インストールする製品、言語を選択して、「次へ」をクリックします。
5. 「よろこそ」画面で「次へ」をクリックします。
6. ソフトウェアの使用許諾書の内容を確認して、承諾する場合は、「はい」をクリックします。
7. インストールするソフトウェアコンポーネントを選択します。ソフトウェアのインストール先のフォルダを変更することもできます。「次へ」をクリックします。
8. ソフトウェアのショートカットが表示される「スタート」メニューのフォルダを選択します。デフォルトでは、本製品用のフォルダが新規に作成されます。「次へ」をクリックします。
9. 本ソフトウェア用に追加ショートカットを作成するかどうかを選択します。
 - a. ソフトウェアのショートカットをデスクトップ上にインストールするには、「デスクトップにインストール」をチェックします。
 - b. 「次へ」をクリックします。
10. 「次へ」をクリックして、ソフトウェアのインストールを開始します。
11. Adobe Illustrator がインストールされている場合は、インストールされている Illustrator の各バージョンの **Plug-ins** フォルダの場所を指定する必要があります。
 - a. 「参照」をクリックしてフォルダの保存場所を選択することもできます。

12. 「はい」をクリックして、環境設定情報を初期化します。
13. 「完了」をクリックします。


ソフトウェアの削除 (Windows)

1. Cutting Master 2 が実行中の場合は、「ファイル」メニューから「終了」コマンドを選択して終了します。
2. Windows のコントロールパネルを開き、「プログラムの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
3. Cutting Master 2 をリストから選択して、「変更と削除」ボタンをクリックします。
4. 「よろこそ」画面で「削除」を選択して「次へ」をクリックします。
5. 「はい」をクリックすると、ソフトウェアが削除されます。

ソフトウェアのインストール (Macintosh)

次の手順でソフトウェアをインストールします。

1. インストーラ CD を CD-ROM ドライブへ挿入します。
2. インストーラアイコンをダブルクリックします。
3. インストーラの言語を選択して「OK」をクリックします。
4. インストールする製品、言語を選択して「OK」をクリックします。
5. 使用許諾書を確認し、「承諾する」をクリックします。
6. 「次へ」をクリックします。
7. インストール先を指定して「インストール」をクリックします。

 ソフトウェアのインストールが開始します。インストールを中止するには「中止」をクリックします。

8. 「はい」をクリックして、環境設定情報を初期化します。
9. 「OK」をクリックします。
10. 「終了」をクリックします。

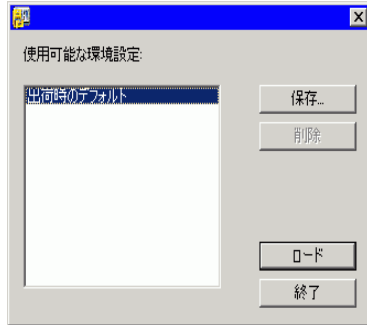
ソフトウェアの削除 (Macintosh)

1. Cutting Master 2 が実行中の場合は、「ファイル」メニューから「終了」コマンドを選択して終了します。
2. デスクトップ上の Cutting Master 2 のエイリアスをゴミ箱へドラッグします。
3. Cutting Master 2 がインストールされたフォルダをゴミ箱へドラッグします。

出力デバイス設定の作成

Cutting Master 2 の初回起動時に、出力デバイス設定を作成する必要があります。詳細は、18 ページの「Cutting Master 2 での出力デバイス設定の作成」を参照してください。

環境設定マネージャの使用



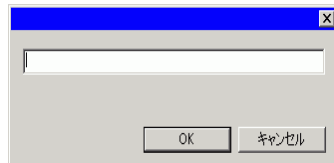
環境設定マネージャは、出力デバイス設定やアプリケーションの全環境設定など、ソフトウェアの全設定をファイルに保存するためのユーティリティです。

デザインソフトウェアまたは Cutting Master 2 の実行中は、環境設定セットをロードできません。環境設定はいつでも保存できます。

環境設定セットの保存

現在の環境設定セットをファイルに保存するには：

1. 環境設定マネージャを実行します。
2. 「保存」をクリックします。



3. 環境設定セットの名前をフィールドに入力し、「OK」をクリックします。


環境設定セットのロード

保存済みの環境設定セットを再ロードするには：

1. ソフトウェアウェアを終了します。
2. 環境設定マネージャを実行します。
3. ロードする環境設定セットを選択します。
4. 「ロード」をクリックします。

ソフトウェアの初期状態への復元

ソフトウェアのデフォルト設定は「出荷時のデフォルト」の環境設定セットに保管されます。Cutting Master 2 の問題のトラブルシューティングの際には、ソフトウェアをデフォルトの状態に戻すことが有効な場合が多くあります。

 この環境設定セットをロードすると、Cutting Master 2 の出力デバイス設定が削除されます。

システムに保存された環境設定情報を初期化するには：

1. ソフトウェアウェアを終了します。
2. 環境設定マネージャを実行します。
3. 「出荷時のデフォルト」を選択します。
4. 「ロード」をクリックします。

環境設定マネージャの終了

環境設定マネージャを終了するには、「終了」をクリックします。

デザインアプリケーションでのジョブの作成

Cutting Master 2 を使ってジョブを出力するための最初のステップとして、デザインアプリケーションでジョブを作成します。

デザインの作成のガイドライン

ジョブの作成では、次のガイドラインに従ってください。

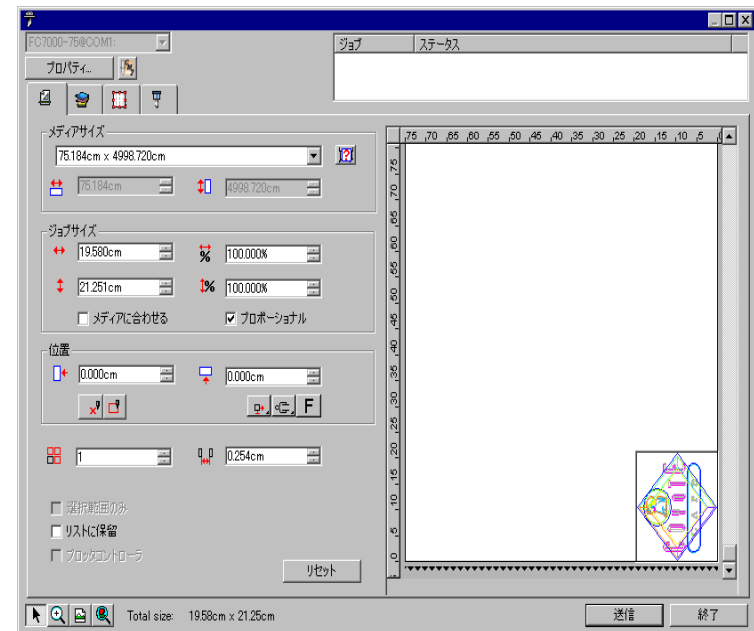
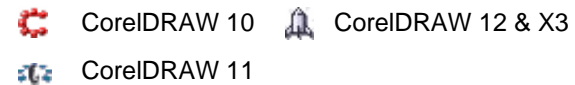
- ビットマップグラフィックスはすべてベクターオブジェクトに変換します。Cutting Master 2 では、ベクターオブジェクトのみ出力可能です。
- オブジェクトには、パターン塗り、ビットマップ塗り、レンズ効果、または、その他のカスタムな塗りは使用できません。オブジェクトに3種類の塗りが使われている場合、Cutting Master 2 では無視され、「カット・プロット」画面には表示されません。
- 色やレイヤーにより、別々に出力するオブジェクトを分離します。その後、「カット・プロット」画面の「レイヤー」タブを使って、出力する色またはレイヤーを選択します。
- デザインアプリケーションでデザインの複製コピーを作成する必要はありません。Cutting Master 2 では、どのデザインの複製でも簡単に出力でき、同じページに複数のコピーを配置することも可能です。
- 同じ色のオブジェクトが重なっていても問題ありません。自動ウェルド機能が自動的に重なっているオブジェクトを一緒にマージします。
- 複数のカットパスを作成する必要がある場合は、「詳細」タブでパスの回数を選択できます。複数のオブジェクトのコピーを重ねて、複数のカットパスを強制的に作成する必要はありません。

カット・プロット画面の設定

ジョブを作成したら、「カット・プロット」画面を開きます。

Cutting Master 2 の「カット・プロット」画面にアクセスするには:

- Adobe Illustrator を使用している場合は、「File」メニューから「Cutting Master 2」を選び、次に「Cut/Plot」を選択します。
- CorelDRAW では、Corel Application Launcher から「Cut/Plot」を選択します。Corel Application Launcher は標準ツールバー内のリストで、CorelDRAW 内から他のアプリケーションの起動を可能にします。CorelDraw の各バージョン別に、次のアイコンが使われます。



数値の入力

Cutting Master 2 では、数値の入力を簡素化するための固有の機能が各種提供されています。

ビルトイン計算式の使用

数値の入力に応じて各種計算を実行することができます。

自動単位変換

デフォルト以外の単位を使って数値を入力すると、デフォルト単位への自動変換が行われます。

例えば、デフォルトの単位がセンチの場合、「1 ft」(フィート)と入力すれば、自動的に 30.48cm に変換します。

次の単位がサポートされています。

in, "	インチ
ft, '	フィート
mm	ミリ
cm	センチ
m	メートル
pt	ポイント

比率の計算

「A:B」の形式で比率を入力すると、フィールドの値がその比率に応じて計算されます。

たとえば、フィールドの値が「12」に設定されていて、「2:3」の比率を入力すると、新しく「8」という値が表示されます。

パーセントの計算

「X%」の形式でパーセントを入力すると、フィールドの値がそのパーセントに応じて計算されます。

たとえば、フィールドの値が「10」に設定されていて、「90%」のパーセントを入力すると、新しく「9」という値が表示されます。

単純算術演算子

単純計算式を入力すると、自動的に計算が行われ、計算結果がフィールドに入力されます。

次の演算子が提供されています(優先順位に従って記載してあります)。

/	除算
*	乗算
+	加算
-	減算

たとえば、「1/8」と入力すると、「0.125」という値が算出されます。

複数の演算が指定されている場合は、演算子の優先順位により、計算処理の順序が決定されます。前記のリストでは、演算子とその優先順位に従って上から順に記載されています。たとえば、「6/2*3」と入力すると、6/2 が最初に処理され、その計算結果が「3」で乗算され、「9」という値が算出されます。

入力値および計算式の自動適用

数値フィールドに数値、比率、計算式の入力後は、しばらくすると、その値が自動的に適用されます。

ジョブプロパティの設定

「カット・プロット」画面のすべてのタブで、次のコントロールが使用できます。

プロパティ 設定プロパティを調整する場合にクリックします。詳細は、20ページの「出力デバイス設定の編集」を参照してください。



Cutting Master 2 を起動する場合にクリックします。



選択ツールを選択する場合にクリックします (このツールは、通常デフォルトで選択されています)。



拡大・縮小ツールを選択する場合にクリックします。ジョブプレビューエリア内をクリック&ドラッグし、デザイン内で拡大する範囲を指定します。縮小する場合は、[Ctrl] キーを押しながらクリックします。



「幅に合わせて表示」を選択する場合にクリックします。プレビューエリアにメディアの幅全体が表示されるように自動的に拡大または縮小されます。



「全てのオブジェクトを表示」を選択する場合にクリックします。プレビューエリアにデザイン内のすべてのオブジェクトが表示されるように自動的に拡大または縮小されます。

リセット

ジョブプロパティをデフォルトの設定に戻す場合をクリックします。

送信

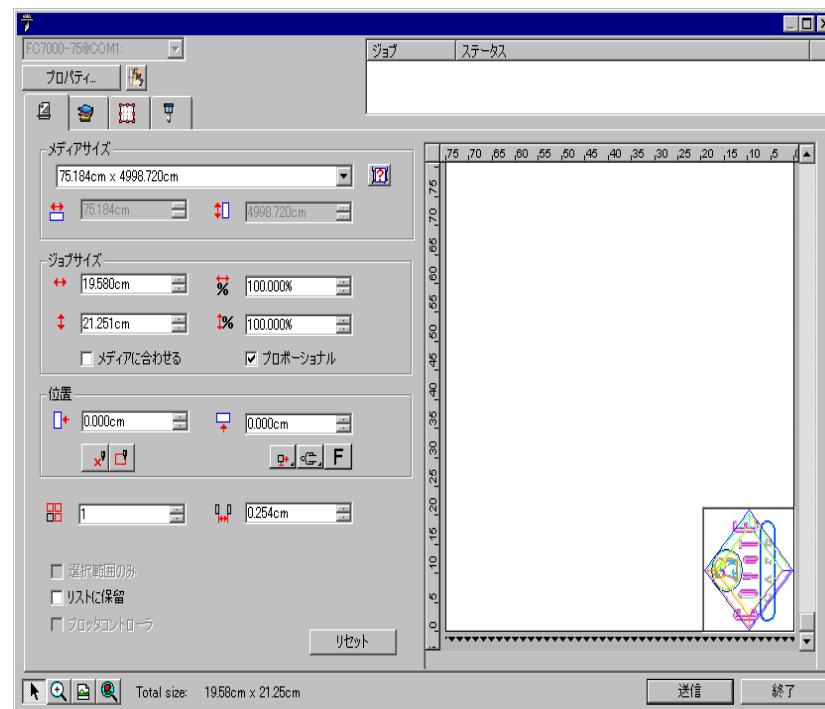
ジョブを現在の設定で Cutting Master 2 に送信します。

終了

「カット・プロット」画面を閉じて、デザインアプリケーションに戻ります。

一般タブのプロパティの設定

「一般」タブでは、メディアのサイズ、ジョブのサイズ、メディア上の出力位置を指定できます。



次の設定が使用できます。

メディアサイズ 出力デバイスにロードされるメディアのサイズ。事前設定のサイズを選ぶか、以下の固有のサイズを指定することができます。




サイズの取得:カッターにセットしたメディアのサイズを取得します。この機能は、デバイスとポートが双方向通信をサポートする場合のみ使用できます。

メディアの幅および高さ。固有の寸法セットを指定すると、自動的に事前設定サイズのリストに追加されます。

ジョブサイズ

これらのオプションを選択すると、出力サイズまたは印刷の方向を指定することができます。


ジョブの幅と高さ。


 元のサイズに対する比率で示すジョブの幅と高さ。


メディアに合わせる ジョブの縦横の比率を維持しながら、出力メディアのカット可能な範囲内で最大サイズで出力されるようにジョブが調整されます。


プロポーショナル このオプションをチェックすると、元のジョブの縦横サイズの比率を維持して、サイズが変更されます。


位置 これらの設定により、メディア上でのジョブの位置を変更します。


 ジョブとカット可能範囲の右マージンおよび下マージンの間隔。プレビューエリアでジョブをページ上でドラッグして、この設定を変更することもできます。


 対話形式:プレビューエリアでのジョブの位置変更と連動して、カッターのナイフも移動します。


 プレビュー:ナイフを下げないで、ジョブの境界線をプロットします。


 出力メディアのカット可能範囲の下端と右端から、指定した間隔でジョブを配置します。


 カット可能範囲の幅方向の中央にジョブ配置します。

 カット可能範囲の中央にジョブを配置します。シートのみで使用可能です。

 画像を 90° 単位で回転します。希望する角度が得られるまで、回転ボタンをクリックしてください。

 画像を左右に反転して、ミラーイメージを出力します。

 出力するコピーの枚数。

 ジョブの一部として出力される各種のタイルやコピー間隔。



選択範囲のみ デザイン全体ではなく、選択したオブジェクトのみを出力します。このオプションは、ダイアログを開いたときに、オブジェクトが選択されている場合に有効になります。

リストに保留 このオプションをチェックすると、ジョブは自動的に出力されず、Cutting Master 2 キューに保留されます。ジョブは Cutting Master 2 から手動で出力する必要があります。詳細は、10 ページの「Cutting Master 2 からのジョブの出力」を参照してください。

Plotter Controller このオプションをチェックした場合、「送信」ボタンを押すと、Cutting Master 2 から現在のジョブが Graphtec Plotter Controller アプリケーションに送信され、出力されます。Plotter Controller アプリケーションがサポートするデバイス用のデバイス設定が指定されている場合のみ、このオプションが有効になります。デバイス設定は、USB 接続を使用するものでなければなりません。Plotter Controller がインストールされていない場合、このオプションは無効になります。Plotter Controller からのジョブの出力の詳細については、このアプリケーションのマニュアルを参照してください。

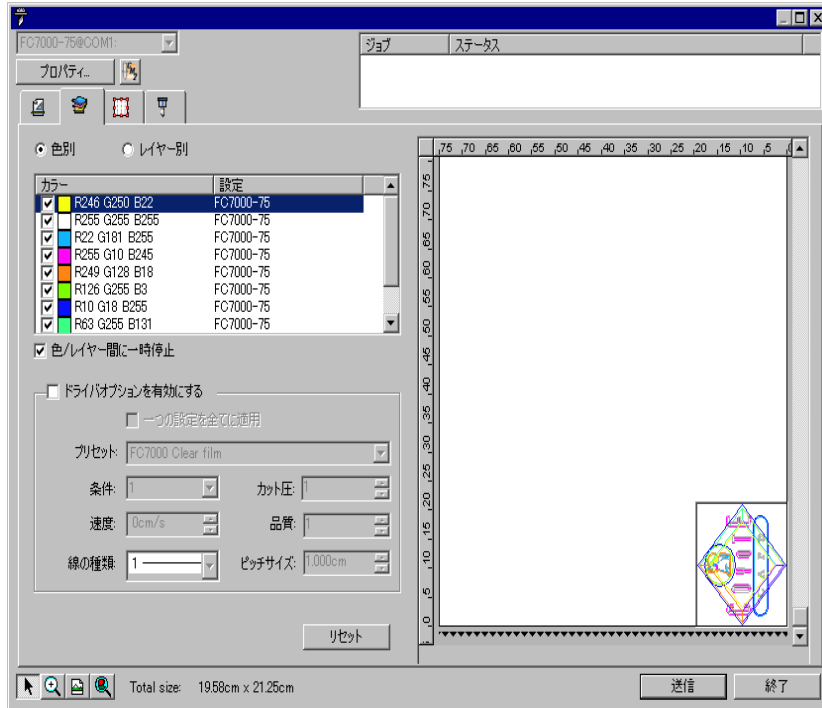
このオプションがチェックされていると、「カット・プロット」画面の次のフィールドが無効になります。

- ジョブの幅
- ジョブの高さ
- パーセント幅
- パーセント高さ
- メディアに合わせる
- プロポーショナル
- コピー数
- コピー間隔
- トンボを使用
- リストに保留
- 出力後の処理

また、回転の制御は反時計回りで 0 ~ 90° に制限されます。


レイヤータブのプロパティの設定

「レイヤー」タブでは、カットジョブの色またはレイヤー別に異なるカットパラメータを指定できます。たとえば、色別に異なる速度でカットすることも可能です。



次の設定を指定できます。

色別 / レイヤー別

色別またはレイヤー別の出力を指示します。「レイヤー」は、デザインアプリケーションにおけるレイヤーを意味し、ビニールシートの重複レイヤーではありません。

- 「色別」を選択すると、「カラー毎に一時停止 / レイヤー毎に一時停止」がチェックされていない限り、同じ色のオブジェクトがすべて同時にカットされます。同じ色のオブジェクトが重複している場合は、輪郭カットが重複します。
- 「レイヤー別」を選択すると、1度に1レイヤーずつジョブがカットされます。「カラー毎に一時停止 / レイヤー毎に一時停止」がチェックされていない限り、各レイヤー内のオブジェクトがすべて同時にカットされます。レイヤー内のオブジェクトが重複している場合は、輪郭カットが重複します。

カラー毎に一時停止 / レイヤー毎に一時停止

このオプションをチェックすると、色またはレイヤー毎に出力が一時停止します。これにより、異なる色のビニールシートをカッターにロードできます。

このオプションのチェックを解除すると、1つのレイヤーとしてジョブが送信されます。「すべてに同じ設定」オプションは自動的にチェックされていて、ジョブ全体に同じドライバオプションが使用されます。カス取りを有効にすると、ジョブ全体に単一のカス取り設定が適用されます。

ドライバオプションを有効にする

このオプションをチェックすると、ソフトウェアで次のオプションが設定されます。チェックを解除すると、出力デバイスの設定が使用されます。

リストで色またはレイヤーを選択してから、次のオプションを設定することで、色別またはレイヤー別の設定を指定できます（「すべてに同じ設定」を参照してください）。

すべてに同じ設定 このオプションをチェックすると、すべての色とレイヤーに対して、同じドライバオプションが適用されず。

「カラー毎に一時停止 / レイヤー毎に一時停止」をチェックした場合は、「すべてに同じ設定」は自動的にチェックされ、解除できません。これは、「カラー毎に一時停止 / レイヤー毎に一時停止」がチェックされていると、ジョブが単一のレイヤーとして送信されるためです。

プリ セット	ドライバオプションの「プリセット」を使い、一般的なジョブタイプのドライバオプションをすべて保存し、簡単に適用することができます。詳細は、「ドライバオプションのプリセットの操作」を参照してください。
コン ディショ ン	カッターのコンディションを示す番号。番号の範囲は1～8です。有効な番号については、カッターのマニュアルを参照してください。
速度	カッターのヘッドまたはペンがメディア上を移動する速度。 カッター上の設定を使用する場合は、「0」に設定します。
カット圧	カッターのヘッドまたはペンに適用される下方に向けての圧力。 カッター上の設定を使用する場合は、「0」に設定します。
品質	「品質」設定では、実際にはカッターのヘッドまたはペンの最大の加速度が制御されます。これを低く設定すると、カットの所要時間が長くなりますが、品質は向上します。 カッター上の設定を使用する場合は、「0」に設定します。

線の種類 線の種類を選択します。
標準線種として、次の種類が提供されます。

- 1 —————
- 2 ·······
- 3 - - - - -
- 4 - - - - -
- 5 - - - - -
- 6 - - - - -
- 7 - - - - -
- 8 - - - - -
- 9 - - - - -

3種類のカスタムな線を作成できます。詳細は、11ページの「カスタムな線の種類の編集」を参照してください。

**ピッチ
サイズ** 実線以外の線の種類を選択した場合の、線のパターンの繰り返し間隔。

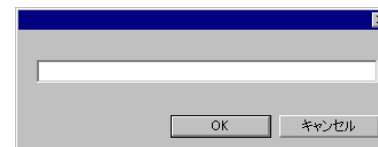
ドライバオプションのプリセットの操作

ドライバオプションの「プリセット」を使い、一般的なジョブタイプのドライバオプションをすべて保存し、簡単に適用することができます。

プリセットの作成

現在のドライバオプションを新しいプリセットとして保存するには：

1. 「プリセット」リストから「別名で保存」を選択します。



2. 新しいプリセットの名前を入力します。
3. 「OK」をクリックします。

プリセットの更新

選択したプリセットを選択したドライバオプションで更新するには、「プリセット」リストから「保存」を選択します。

プリセットの適用

プリセットに保存したドライバオプションを現在のジョブに適用するには、「プリセット」リストからプリセットを選択します。

プリセット名の変更

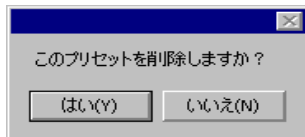
プリセットの名前を変更するには:

1. 名前を変更するプリセットを「プリセット」リストから選択します。
2. 「プリセット」リストから「名称変更」コマンドを選択します。
3. 新しい名前を入力して、「OK」をクリックします。

プリセット名の削除

プリセットを削除するには:

1. 削除するプリセットを「プリセット」リストから選択します。
2. 「プリセット」リストから「削除」コマンドを選択します。

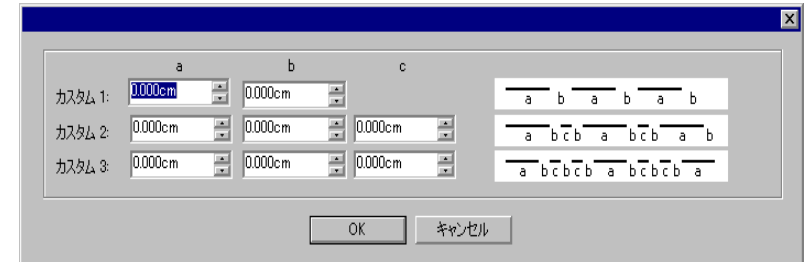


3. 「はい」をクリックします。

カスタムな線の種類の編集

カスタムな線の種類を編集するには:

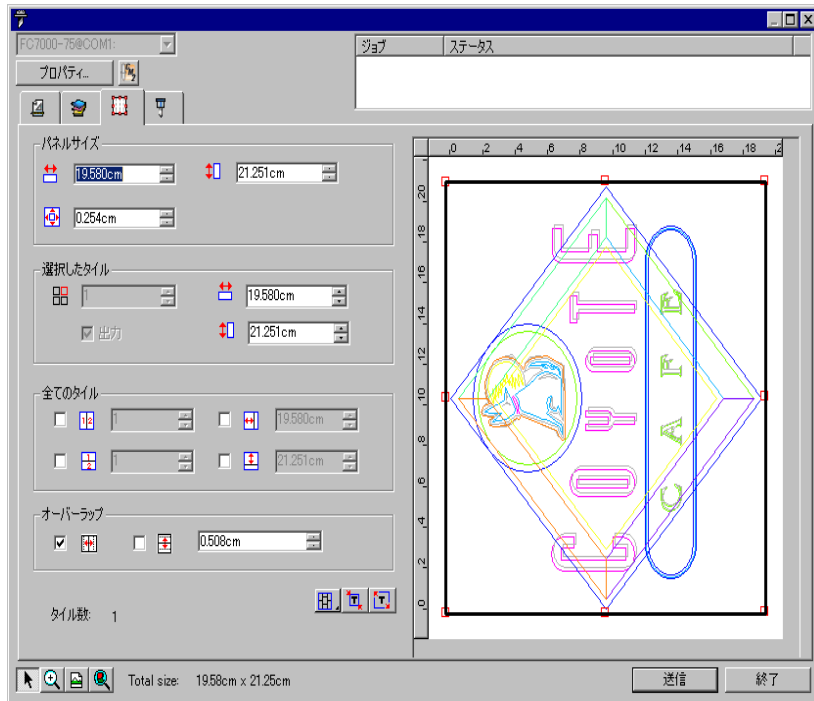
1. 「線の種類」リストから「編集」を選択します。



2. 線の各セグメントの長さ、セグメント間の間隔を入力して、3つのカスタムな線の種類を指定します。
 - a 線の最初のセグメントの長さ。
 - b 線のセグメントの間隔。
 - c 2番目と3番目のセグメントを使う場合、その長さ。「カスタム 1」では、1つの線セグメントが繰り返されます。「カスタム 2」では2種類のセグメント、「カスタム 3」では3種類のセグメントがパターンとして繰り返されます。
3. 「OK」をクリックします。


分割タブのプロパティの設定


「分割」タブでは、ジョブを複数の小さなタイルに分割し、個別に出力することができます。




次の設定を指定できます。


パネルサイズ パネルは、ジョブのうち、タイルに分割され出力される部分です。パネルのサイズが縮小され、ジョブ全体をカバーしなくなると、パネルでカバーされる部分のみが出力されます。

 パネルの幅と高さを表示します。サイズを調整するには、値を直接入力するか、矢印ボタンを使用します。

 マージンサイズ。マージンは、ジョブの境界線の外側のパネル部分です。


選択したタイル 次のフィールドで、幅と高さを表示するタイルを選択します。


 編集するタイルを選択します。選択したタイルはプレビューエリアで強調表示されます。



 選択したタイルの幅と高さを表示します。サイズを調整するには、値を直接入力するか、矢印ボタンを使用します。

出力 このオプションをチェックすると、選択したタイルがジョブの残り部分と共に出力されます。チェックを解除すると、選択したタイルにはプレビューエリアでメッシュのオーバーレイが表示され、出力はされません。


全てのタイル 全てのタイルに適用される設定で、同じサイズのタイルに、簡単に分割できます。


 このオプションを選択すると、指定した数の列にジョブが分割されます。列はすべて同じ幅になります。


 このオプションを選択すると、指定した数の行にジョブが分割されます。行はすべて同じ高さになります。

  特定のサイズのタイルに分割するには、ここでタイルの幅と高さを指定します。タイルはすべて、ここで指定するサイズに変更されます。

オーバーラップ 行または列の間に、重ねしろを指定します。重ねしろを指定することで、出力を貼り合わせるときの隙間をなくすることができます。重ねしろは、行または列が重なり合う部分の合計サイズとなります。

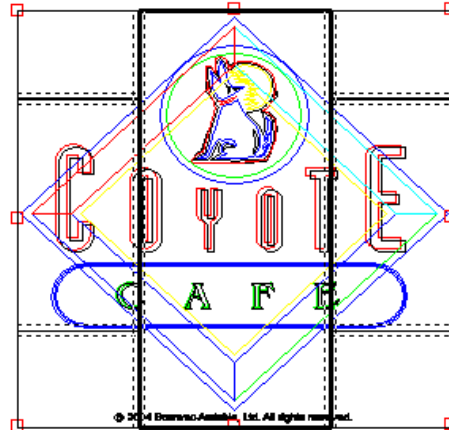
 タイルの端に垂直方向に重ねしろを作成する場合にチェックします。

 タイルの上端と下端に重ねしろを作成する場合にチェックします。

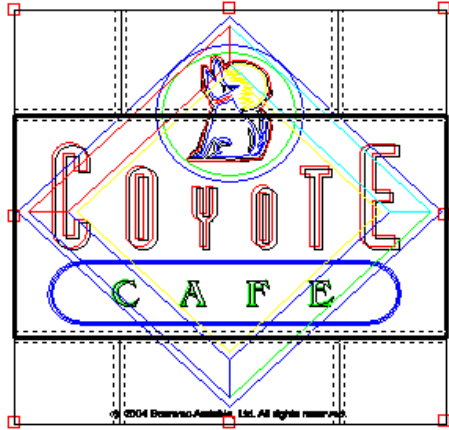
 重ねしろの幅。負の値を入力すると、タイル間にオフセットを指定することができます。



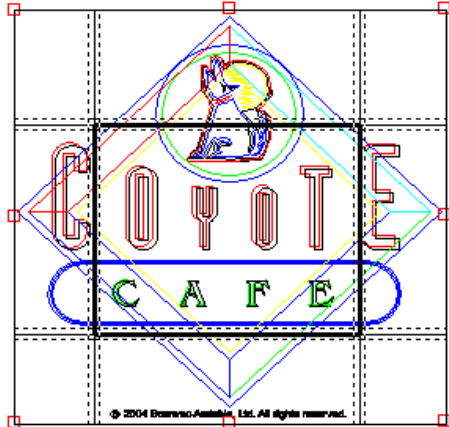
同じ列のタイルの幅を一括に調整するように、列をロックします。



同じ行のタイルの高さを一括に調整するように、行をロックします。



行の高さおよび列の幅を一括に調整するように、行と列をロックします。



自動分割: 選択したすべてのオブジェクトを含むタイルが自動的に作成されます。オブジェクトが選択されていない場合は、デザイン内のすべてのオブジェクトが含まれます。選択したメディアのサイズに対してデザインが大きすぎる場合は、各タイルが最大サイズになるように自動的に分割されます。自動分割では、ページ全体ではなく、デザインまたは選択したオブジェクトのみが分割されます。






デザイン枠を分割: デザインページ全体が自動的に分割されます。選択したメディアのサイズに対してページが大きすぎる場合は、各タイルが最大サイズになるように自動的に分割されます。



ジョブのタイルへの分割






初期のジョブは、全体をカバーする大きな単一のタイルで構成されます。デフォルトではこのタイルが選択されています。

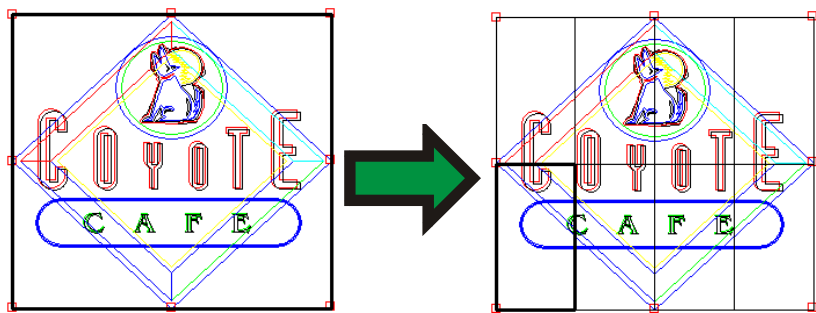
ジョブを複数のタイルに分割するには、「選択したタイル」セクションで、 または  フィールドで、幅または高さを変更してタイルのサイズを縮小します。ジョブの露出部分をカバーするように、複数のタイルが自動的に新規作成されます。

たとえば、30x25 のジョブを 2 つのタイルに垂直分割するには、 フィールドの値を「15」に設定して、最初のタイルのサイズを 15x25 に縮小します。2 目目のタイルとして、15x25 のタイルが自動的に作成されます。

ジョブの行または列への均等分割

ジョブを指定の数の行または列に均等に分割するには:

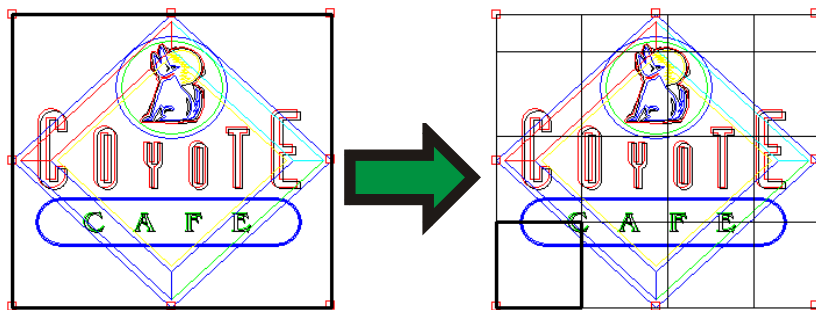
1. ジョブを垂直に分割するには 、水平に分割するには  をチェックします。
2.  フィールドにタイルの列数を入力します。
3.  フィールドにタイルの行数を入力します。
4.  フィールドで、タイル間のオーバーラップの値を設定します。



ジョブの指定サイズのタイルへの均等分割

ジョブを特定のサイズのタイルに均等に分割するには:

1. ジョブ内のタイルすべてが指定サイズになるようにするには、 と をチェックします。
2. および フィールドで、タイルの幅と高さを指定します。
3. フィールドで、タイル間のオーバーラップの値を設定します。



指定のタイルがジョブを均等にカバーしない場合は、上端と右端のタイルがギャップに適したサイズに縮小されます。

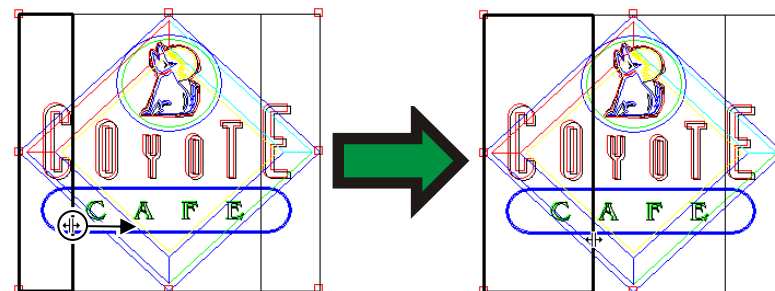
タイルの選択

タイルを選択するには、プレビューエリアのタイルをクリックするか、「分割」タブの「選択したタイル」セクションの フィールドでタイルを選択します。

タイルの編集

選択したタイルのサイズを編集するには、 と フィールドの値を変更します。

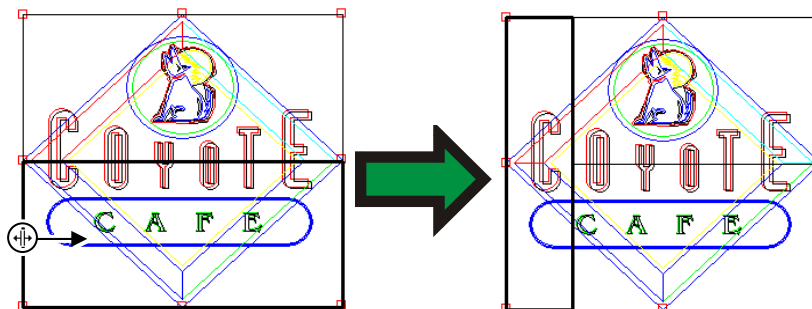
プレビューエリアでタイルの端をドラッグすることで、サイズを変更することもできます。



クリック&ドラッグして、タイルのサイズを変更します。

「全てのタイル」チェックボックスが 1 つでもチェックされていると、 と フィールドが無効になる場合があります。その場合、全てのタイルサイズを均等に維持するため、これらフィールドが上書きされます。プレビューエリアでタイルを編集することもできなくなります。

パネルの縁をドラッグして、ジョブの一部がカバーされなくなった場合は、その露出部分をカバーする新しいタイルが作成されます。ただし、クロッピングハンドルを使ってパネルのサイズを変更した場合は、その例外となります(詳細は、15 ページの「ジョブのクロッピング」を参照してください)。



タイルを追加するには、パネルの端をクリックしてドラッグします。

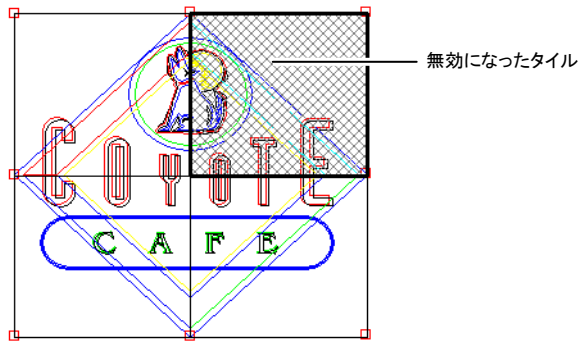
特定のタイルの出力停止

タイルを無効にして、ジョブの残り部分と共に出力されないようにするには、次のいずれかの操作を行います。

- プレビューエリアでタイルをダブルクリックします。

- プレビューエリアでマウスの右ボタンを使ってタイルをクリックします。

無効になったタイルはハッシュパターンでマークされます。



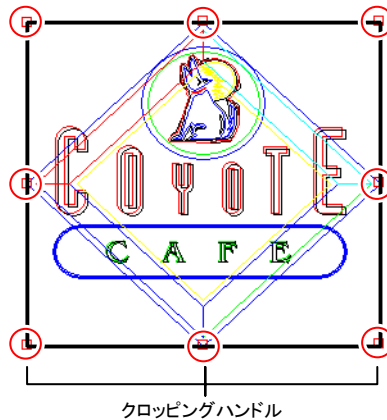
無効にしたタイルを再び出力可能にするには、もう一度そのタイルをダブルクリックするか、マウスの右ボタンでクリックします。

各ジョブにおいて 1 つのタイルを常に有効にする必要があります。全てのタイルを無効に設定しようとしても、タイルの 1 つは有効な状態に戻ります。

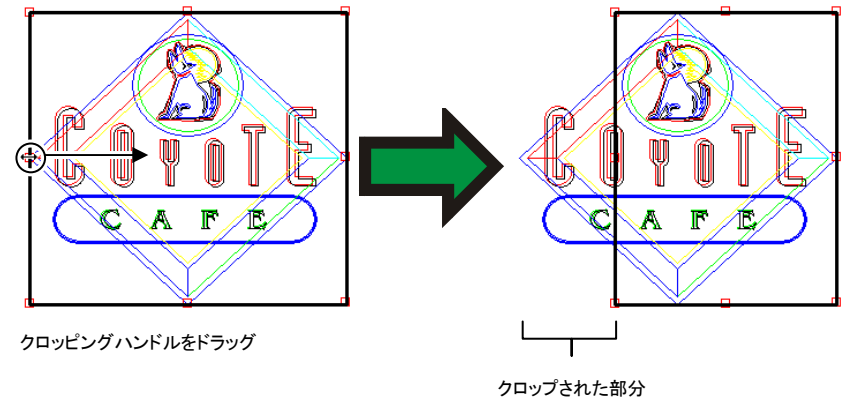
ジョブのクロッピング




ジョブの一部を出力されないようにクロップするには:

1. ジョブの「ジョブプロパティ」画面を開きます。
2. ジョブの表示方法に、「分割プレビュー」を選択します。
3. 赤いクロッピングハンドルをドラッグして、ジョブの不要な部分をクロップします。




ジョブのクロップされた部分は出力されません。



「分割」タブの「パネルサイズ」セクションで、、、 の各フィールドを使ってパネルサイズを縮小することでジョブをクロップすることもできます。

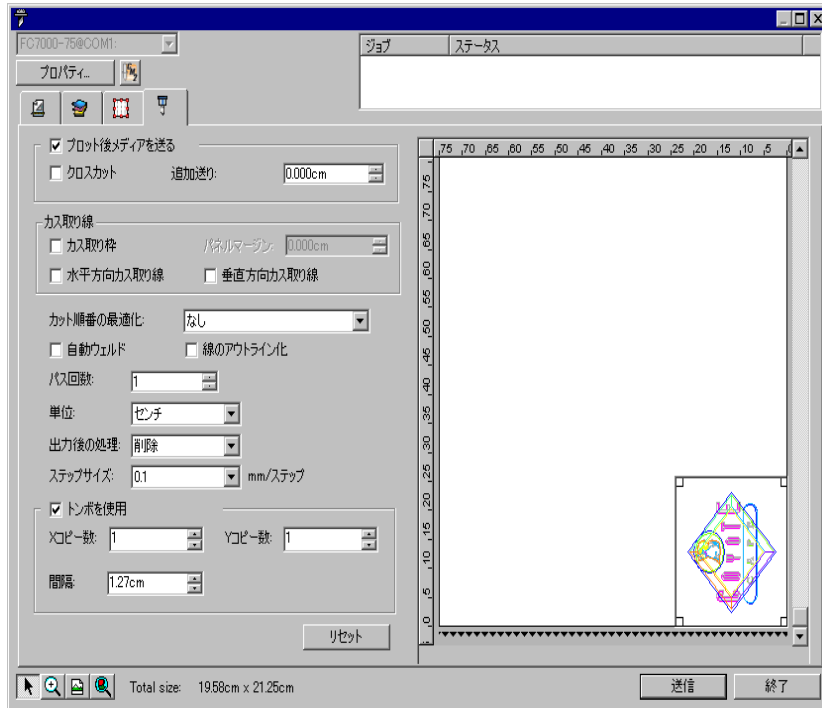
分割およびクロップ処理のリセット

分割処理とクロップ処理をすべて除去し、ジョブを元の完全な状態に戻すには、「リセット」ボタンをクリックします。

 ジョブがメディアよりも大きな場合は、メディアに合うように分割されます。

詳細タブのプロパティの設定

「詳細」タブでは、カットジョブ固有の様々なオプションを設定します。




次の設定を指定できます。

プロット後メディアを送る ジョブの出力後にメディアを送り、原点をリセットします。

クロスカット このオプションをチェックすると、ジョブのカット後に、出カメディアがジョブ上部でクロスカットされ、カッター内に残っている残りのメディアから切り離されます。

複数ページのジョブでは、ジョブの各ページの出力後にクロスカットされます。

 カッターがこの機能をサポートする場合にのみ、このオプションが有効になります。

追加送り ジョブの出力後、通常より多い量のメディアが送られます。

カス取り枠

選択した色とレイヤーの各オブジェクトの周りに、指定のパネルマージンでカス取り枠をカットします。



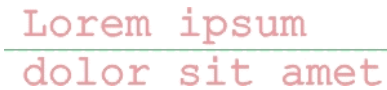
カス取り枠は、「レイヤー」タブの設定に関係なく、常に実線です。

パネルマージン

カス取り枠に使用されるパネルマージン。

水平方向カス取り線

テキスト(またはオブジェクト)の行間にカス取り線を挿入します。



カス取り枠は、「レイヤー」タブの線の設定に関係なく、常に実線です。

垂直方向カス取り線

文字(またはオブジェクト)間にカス取り線を挿入します。



カス取り枠は、「レイヤー」タブの線の設定に関係なく、常に実線です。

カット順番の最適化

デザイン内のオブジェクトがカットされる順番を選択します。

なし オブジェクトが作成された順番に、カットまたはプロットされます。

速度優先 カット速度が最大化される順番で、オブジェクトがカットされます。

メディアの移動量を制限 メディアを移動する量を最低限に抑えることができる順番で、オブジェクトがカットされません。

自動ウェルド

同じ色のオブジェクト間の重なりをなくします。

線のアウトライン化

線幅を指定した場合に、線を別のオブジェクトとしてカットするかを選択します。

パス回数	同じパスを繰り返しカットする回数を設定します。1 回のパスで切れない、厚いメディアや硬いメディアを使用する場合に設定します。
単位	測定に使用する単位を指定します。
出力後の処理	出力後のファイルの処理を指定します。「削除」か「保留」を選択します。
ステップサイズ	カッターで現在設定されている単位長さあたりのステップ数。
トンボを使用	このオプションをチェックすると、カッターが出力メディア上に印刷されたトンボを検出し、これを使って、カットジョブのサイズを測って配置します。 このオプションをチェックした場合、一部のフィールドが無効になります。
X コピー	コピーの列数。
Y コピー	コピーの行数。
間隔	コピー間の間隔。

Cutting Master 2 へのジョブの送信

カットジョブを Cutting Master 2 入力して出力するには、「カット・プロット」画面の「送信」ボタンをクリックします。カット・プロット画面を終了するには、「終了」をクリックします。

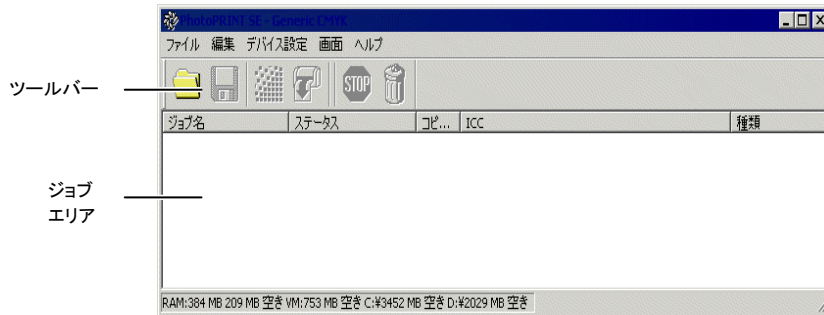
「カット・プロット」画面の「リストに保留」オプションがチェックされていない場合は、Cutting Master 2 にジョブが送信されると、すぐに出力されます。「リストに保留」がチェックされている場合は、ジョブを手動で出力する必要があります。詳細は、21 ページの「Cutting Master 2 からのジョブの出力」を参照してください。

出力後のジョブは、「カット・プロット」画面の「詳細」タブの「出力後の処理」設定に応じて、削除されるか、キューに保留されます。詳細は、15 ページの「詳細タブのプロパティの設定」を参照してください。

Cutting Master 2 からのジョブの出力

Cutting Master 2 の基本要素

次に Cutting Master 2 の基本要素を示します。



表示フィールド

ジョブエリアには次の項目が表示されます。






- ジョブ名** ジョブのファイル名。
- ステータス** ジョブの現在の処理状況。
- コピー数** 出力するコピー枚数。
- ファイルの種類** ジョブの種類。
- カラー** メディア用に指定した色。複数の色が指定されている場合、このフィールドには「複数」と表示されます。

ツールバー

ツールバーは、メインウィンドウの上部に配置されています。頻繁に使用するコマンドをここから実行できます。

ツールバーを表示または非表示にするには、「画面」メニューから「ツールバー」を選択します。

ツールバーには、次のコマンドが用意されています。

-  **ジョブの追加** 選択したジョブを出力デバイスに追加します。
-  **別名で保存** 選択したジョブをファイルに保存します。
-  **ジョブの送信** 選択したジョブを出力デバイスに送信します。
-  **中断** 選択したジョブの出力を中断します。
-  **削除** 選択したジョブを削除します。

アプリケーションの環境設定

アプリケーションの環境設定を指定するには、「編集」メニューから「環境設定」を選択します。



次の設定を指定できます。

- 単位** 表示される測定単位。
- 精度** 測定に使用する精度。

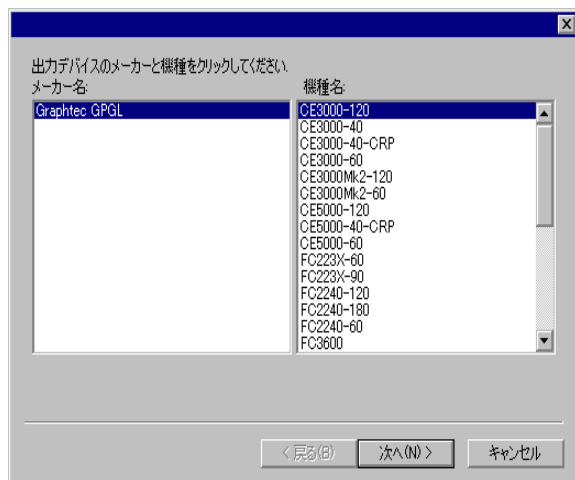
Cutting Master 2 での出カデバイス設定の作成

出カデバイス設定によりソフトウェアと出カデバイスの間のリンクが提供されます。これには、以下の情報が含まれます。

- 使用する出カデバイスの種類
- デバイスとの間の通信方法

最初の出カデバイス設定の作成

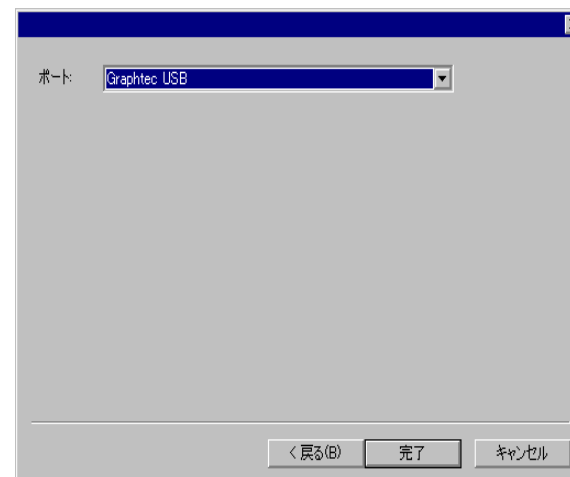
ソフトウェアを初めて起動すると、最初の出カデバイスを設定する指示が表示されます。



1. リストから、出カデバイスのメーカーと機種名を選択します。
2. 「次へ」をクリックします。



3. デバイスの「デバイス設定名」を編集します。
4. 「次へ」をクリックします。



5. 出カデバイスとの通信に使用する「ポート」を選択します。必要に応じて、選択したポートの通信設定を編集します。
6. 「完了」をクリックします。

出力デバイス設定の変更

このソフトウェアでは、一度に 1 つの設定のみの使用が許可されます。新しい設定を作成すると、既存の設定が削除されます。

出力デバイス設定を変更するには、「デバイス設定」メニューから「デバイス設定の変更」を選択します。

新しいデバイス設定を作成する手順は、最初のデバイス設定の場合と変わりません。

出力デバイス設定の編集

出力デバイス設定に関連付けられているプロパティを編集するには、「デバイス設定」メニューから「デバイス設定のプロパティ」を選択します。

「ジョブワークフロー」タブ



「ジョブワークフロー」タブには、出力デバイスの情報が表示されます。



デバイス設定名

デバイス設定の名前。

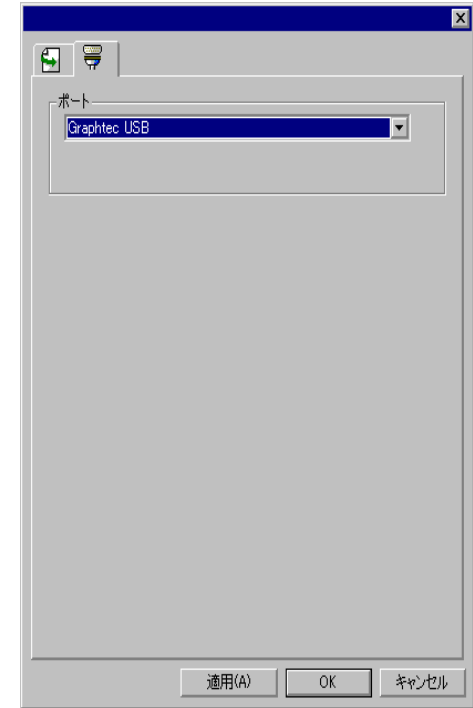
「通信」タブ



このタブの設定セクションは、出力デバイスとの接続に使用されるポートにより異なります。

ポートは、各デバイスでの利用度の順にリストしてあります。出力デバイスにより使用可能なポートのみを記載してあります。

デフォルトで、デバイスの標準ポートが選択されます。一部ポート設定の入力または編集が必要な場合があります。



ポート カッターの接続先のポートを選択します。ポートの一覧には、実際にコンピュータ上に存在していて、出力デバイスで使用可能なポートのみが表示されます。

LPT パラレルポートは、カッターとコンピュータを接続するための、最も一般的な方法です。次の設定を指定できます。

送信バッファ バイトで表す送信バッファのサイズ。

印刷前にポートの状態をチェックする このオプションをチェックすると、ジョブの印刷開始前に、カッターが接続されているかどうかを確認するためにデータパケットがカッターに送信されます。

標準 LPT (パラレルポート)ドライバを使用する LPT ポートのパフォーマンスを向上するために、可能な場合はカスタムな LPT ドライバが使用されます。

このオプションをチェックすると、標準の Windows LPT ドライバが使用されます。パフォーマンスは低下しますが、信頼性が向上する場合があります。

カスタムドライバの使用時には、次の設定が有効になります。

モード 送信スピードを最大化するには「ECP」(Enhanced Capabilities Mode: 拡張機能モード)を使用します。「EPP」(Enhanced Parallel Port: エンハンスドパラレルポート)の場合、ECP ほど高速ではありませんが、互換性は向上します。

DMA 使用の ECP ECP で DMA を使用すると、最大ビット速度を 2 mbps から 4 mbps に増加することが可能です。

デバイスが使用中の場合は放棄 このオプションをチェックすると、出力デバイスが使用中はカスタムドライバが使用する余分なシステムリソースが開放されます。これにより、全体のパフォーマンスが向上することがあります。

USB USB ポートのドライバは、出力デバイスに同梱されています。これらのポートを使用する前に、適切なドライバがインストールされていることを確認してください。

COM シリアル通信ポート。このポートは通常カッターのみがサポートします。

秒あたりのビット数、データビット、パリティ、ストップビット、ハードウェア/ソフトウェアのフロー制御など標準シリアルポートのコントロールに加えて、次の信号線を有効/無効を切り替えるチェックボックスも表示されます。

DTR Data Terminal Ready(データ端末レディ)

DSR Data Set Ready(データセットレディ)

RTS Request To Send(送信リクエスト)

CTS Clear To Send(送信可)

DCD Data Carrier Detect(データキャリア検出)

テスト用輪郭カットジョブの出力

テスト用のカットジョブを、適切な出力デバイスに出力し、すべてが正しく動作しているかどうかを確認することができます。

テスト用のカットジョブを出力するには、「デバイス設定」メニューから「テストカット」を選択します。

Cutting Master 2 からのジョブの出力

「カット・プロット」画面の「一般」タブで、「リストに保留」ボックスがチェックされていない場合、Cutting Master 2 に送信されたジョブは、受信後すぐに自動的に出力されます。

「リストに保留」がチェックされている場合は、ジョブを手動で出力するまで、キューに保管されます。

ジョブのファイルへの保存

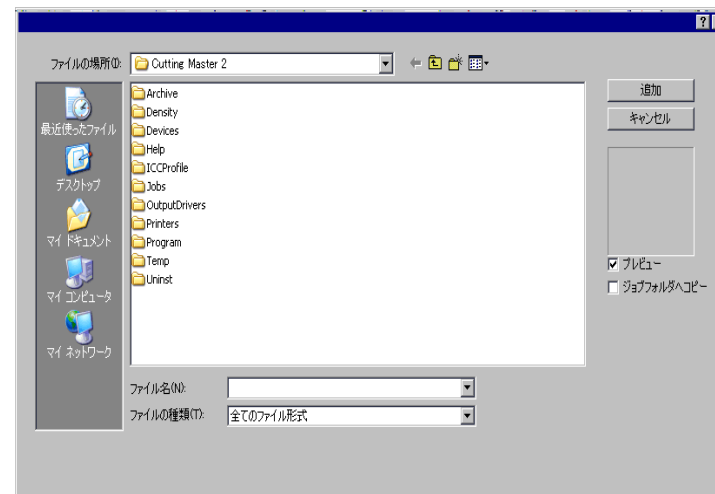
ジョブを .PLT ファイルに保存するには、次のいずれかの手順を実行します。

- 「ファイル」メニューからジョブを選択して、「別名で保存」を選択します。
- ジョブを選択して、ツールバーの「別名で保存」ボタンをクリックします。
- ジョブをマウスの右ボタンでクリックして、コンテキストメニューから「別名で保存」を選択します。

ファイルからの保存済みジョブのロード

保存済みのジョブをファイルからロードするには:

1. 「ファイル」メニューから「ジョブの追加」を選択します。



2. 追加するファイルを選択します。
3. ファイルをローカルのジョブフォルダにコピーする場合は、「ジョブフォルダにコピー」をチェックします。
☞ ジョブがリムーバブルメディアまたはネットワークドライブ上にある場合は、ローカルフォルダにコピーすることで、メディアの取外し後またはネットワークとの切断後もジョブを処理できます。
4. 「追加」をクリックします。

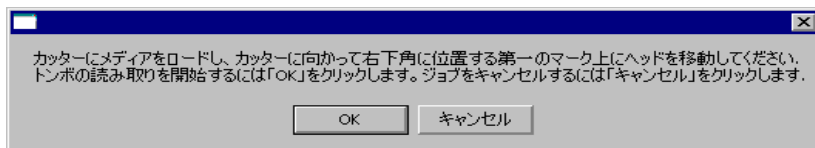
ジョブのカッターへの送信

ジョブをカッターに送信するには、次のいずれかの手順を実行します。

- ジョブを選択して、「ファイル」メニューから「送信」を選択します。
- ジョブを選択して、ツールバーの「送信」ボタンをクリックします。
- ジョブをマウスの右ボタンでクリックして、コンテキストメニューから「送信」を選択します。

カッター上での自動位置合わせによるジョブのカット

自動的に位置合わせされたカッターでジョブをカットするには:



1. カッターのパネルのコントロール機能を使って、最初の自動位置合わせ用のトンボ(マークされていない場合は右下)にカッターのヘッドを合わせます。
2. 「OK」をクリックして、輪郭をカットします。

ジョブの処理の中断

カット中のジョブを中断するには、次のいずれかの手順を実行します。

- ジョブを選択して、「ファイル」メニューから「中断」を選択します。
- ジョブを選択して、ツールバーの「中断」ボタンをクリックします。
- ジョブをマウスの右ボタンでクリックして、コンテキストメニューから「中断」を選択します。

出力中のジョブを中断すると、ジョブの出力ステータスは 0% にとどまります。

ジョブの削除

ジョブを削除するには、次のいずれかの手順を実行します。

- ジョブを選択して、キーボードの [削除 (Delete)] キーまたは [後退 (Backspace)] キーを押します。
- ジョブを選択して、「編集」メニューから「削除」を選択します。
- ジョブを選択して、ツールバーの「削除」ボタンをクリックします。
- ジョブをマウスの右ボタンでクリックして、コンテキストメニューから「削除」を選択します。

Cutting Master 2 を使用した輪郭カット

Cutting Master 2 により、カッターを使って、別のプリンタで生成された印刷メディア上で、輪郭カットを行うことが可能になります。これにより、プリント&カット装置のような出力が生成されます。

印刷されたメディア上の輪郭カットを行うには、次のいずれかの手順を実行します。

1. デザインアプリケーションでジョブのデザインを作成します。
2. 印刷されたジョブに対して輪郭カットを行うため、Cutting Master 2 が位置合わせを行うためのトンボを追加します。
3. デザインの印刷部分を出力します。
4. 印刷されたメディアをカッターにロードします。
5. カッターで、デザインの輪郭部分を出力します。

仮想プリント&カット出力用のジョブのデザイン

仮想プリント&カット出力用にジョブをデザインする場合、ジョブの印刷部分とカット部分を分離できることが重要になります。

そのためには、次の 2 とおりの方法を使用できます。

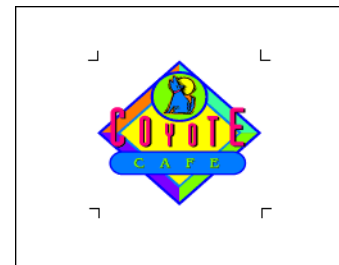
- 印刷とカット用のそれぞれのエレメントを別々のレイヤーに配置し、出力する必要のないレイヤーを隠します。
- 印刷またはカットするエレメントを手動で選択して、選択した要素のみを印刷またはカットします。

別々のレイヤーを使って印刷とカット用のそれぞれのエレメントを分離する方法は、複雑なデザインにも適しているため、この方法を使用することをお勧めします。

印刷ジョブへのトンボの追加

Cutting Master 2 のプラグインを使うと、デザインにトンボを追加できるようになります。このトンボを使って、印刷出力の輪郭カットの位置合わせができます。

トンボは、ロックされた専用デザインレイヤーに追加されます。



☞ トンボを含むレイヤーに割り当てられた名前を変更しないでください。

トンボを使って輪郭カットの自動位置合わせを行うには、トンボを印刷する必要があります。トンボ自体は輪郭カットの対象になりません。

デザインにトンボを加えるには、次の 2 とおりの方法があります。

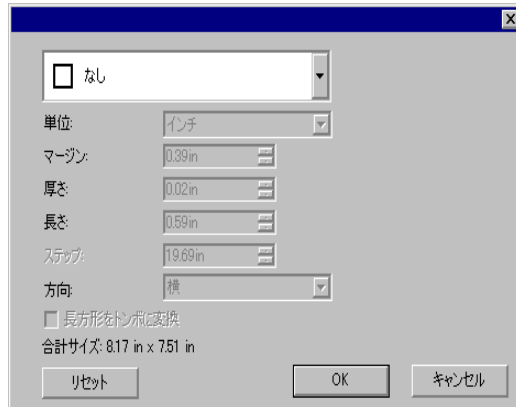
- トンボを自動的に追加します。
 - デザインに長方形の囲み枠を追加し、これをトンボで置き換えます。
- ☞ トンボの追加後にデザインを変更したりサイズを修正した場合は、トンボをいったん削除し、もう一度追加する必要があります。こうすることで、ジョブの新しいサイズが適切に示されます。ジョブの編集やサイズ変更時には、トンボは自動的に更新されません。

トンボの自動追加

Cutting Master 2 では、オブジェクトが選択されていない場合、自動的にデザインの周囲にトンボが追加されます。

デザインにトンボを追加するには：

1. デザインアプリケーションでジョブを開きます。
2. 次のいずれかの方法で、「トンボ」画面にアクセスします。
 - Adobe Illustrator を使用している場合は、「File」メニューから「Cutting Master 2」を選び、次に「Registration marks」を選択します。
 - CorelDRAW では、Corel Application Launcher から「Registration Marks」を選択します。Corel Application Launcher は標準ツールバー内のリストで、CorelDRAW 内から他のアプリケーションの起動を可能にします。CorelDraw の各バージョン別に、次のアイコンが使われます。



3. 一番上のリストから、使用するトンボを選択します。

<input type="checkbox"/>	なし
<input checked="" type="checkbox"/>	Graphtec Type 1 Automatic

<input checked="" type="checkbox"/>	Graphtec Type 2 Automatic
<input checked="" type="checkbox"/>	Graphtec Segment Area Type 1
<input checked="" type="checkbox"/>	Graphtec Segment Area Type 2

「Graphtec Segment Area Type 1」と「Graphtec Segment Area Type 2」のトンボは、CE5000 および FC7000 カッター専用です。

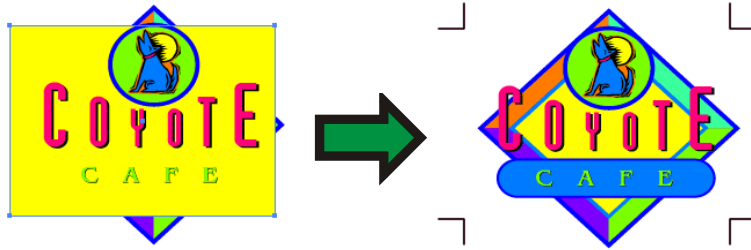
4. 次のオプションを設定します。

単位	測定単位。
マージン	トンボとジョブの間隔。
太さ	トンボに使用する線の太さ。
長さ	トンボの片側のサイズ。
ステップ	セグメントエリアタイプのトンボ用。セグメントマーク間の最大間隔。
方向	この項目をチェックすると、セグメントエリアタイプのマークが 90° 回転されます。
長方形の枠を変換	この項目をチェックすると、選択した長方形の囲み枠の周りにトンボが配置されます。囲み枠は削除され、トンボだけが残ります。
合計サイズ	ジョブとトンボ両方を合わせたエリアのサイズ。

5. 「OK」をクリックします。

長方形の囲み枠のトンボによる置換

デザインアプリケーションで長方形の枠を作成し、これが「トンボ」画面が開いたときに選択されている場合、Cutting Master 2 は、これをトンボの枠として使用します。この長方形の枠にそってトンボが配置された後、長方形の枠は削除され、トンボだけが残されます。



長方形の枠をトンボで置換するには:

1. デザインアプリケーションでジョブを開きます。
2. トンボの枠として使用する長方形を描きます。
3. 「トンボ」画面にアクセスします (前述の手順を参照してください)。
4. 「長方形の枠を変換」オプションがチェックされていることを確認します。
5. その他、適切なオブジェクトを設定します (前述の手順を参照してください)。
6. 「OK」をクリックします。

トンボの削除

トンボを削除するには、次のいずれかの手順を実行します。

- トンボの追加手順を繰り返し、「なし」を選択します。
- トンボを含むレイヤーのロックを解除して、削除します。

デザインの印刷部分の出力

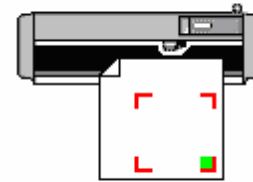
デザインの印刷部分を出力するには:

1. 輪郭カットを含むレイヤーを隠します。
2. デザインの印刷部分を含むレイヤーが非表示になっていることを確かめます。
3. デザインアプリケーションの標準印刷機能を使って、ジョブをプリンタに送信します。

印刷されたメディアのカッターへのロード

ジョブの印刷部分の出力後、インクが乾燥するのを待ち (必要な場合)、メディアをプリンタから取り出してカッターにロードします。

印刷メディアを逆向きにロードするとカットジョブが正しく行われないため、トンボの位置を確認してメディアを正しくロードしてください。



カッターにメディアをロードしたら、カッターに向かった状態で、右下にあるトンボにヘッドの位置を合わせます。

輪郭のカッターへの出力

デザインの輪郭カット部分を出すには:

1. デザインの印刷部分を含むレイヤーを隠します。
2. 輪郭カットを含むレイヤーが非表示になっていることを確かめます。
3. 「カット・プロット」画面を使って、出力を Cutting Master 2 に送信します。
4. 必要に応じて、Cutting Master 2 からカットジョブをカッターに送信します。

Features List

	Cutting Master 2	Cutting Master 2 Robo
一般		
サイズの取得	X	
コピー枚数	X	
コピー間隔	X	
リストに保留	X	
レイヤリング		
テストカット		X
ドライバオプション		
条件	X	
品質	X	
分割	X	
詳細		
プロット後メディアを送る	X	
追加送り	X	
カス取り枠	X	
パネルマージン	X	
垂直方向カス取り線	X	
水平方向カス取り線	X	
カット順番の最適化	X	
出力後の処理	X	
ステップサイズ	X	
トンボ		
コピー数	X	
間隔	X	
トンボ		
Graphtec Type 1 Automatic	X	
Graphtec Segment Area Type 1	X	
Graphtec Segment Area Type 2	X	
太さ	X	
長さ	X	
ステップ	X	

索引

- P-
- Plotter Controller, 9
- あ-
- 演算子の優先順位, 6
- か-
- 環境設定マネージャ, 4
- キュー
 - 表示フィールド, 20
- 均等分割, 14
- 計算式, 6
- コピー枚数, 9
- さ-
- 左右に反転, 9
- システム構成, 2
- 自動計算, 6
- 自動単位変換, 6
- 自動パーセント計算, 6
- 自動比率計算, 6
- 出力の中断, 20, 26
- ジョブ
 - 回転, 8
 - クロッピング, 16
 - 削除, 20
 - 出力, 20
 - ジョブサイズの設定, 8
 - 中断, 26
 - 追加, 20
 - 配置, 8
 - ファイルに保存, 20
 - 分割, 13
 - メディアに合わせる, 8
 - ジョブの回転, 8
 - ジョブの間隔, 9
 - ジョブのクロッピング, 16
 - ジョブのサイズ, 8
 - ジョブの削除, 20
 - ジョブのトリミング, 16
 - ジョブの配置, 8
 - シリアルポート設定, 24
 - 数値の入力, 6
 - 精度, 21
 - 精度の指定, 21
 - 測定単位, 21
 - ソフトウェアの使用, 1
- た-
- 単位の変換, 6
- 単位変換, 6
- 通信, 23
- ツールバー, 20
- 特定のタイルの出力停止, 16
- 特定のタイルの出力のブロック, 16
- は-
- パーセント計算, 6
- パーセントの計算, 6
- パネルサイズ, 13
- パネルのサイズ, 13
- パラレルポート設定, 23
- 反転, 9
- 必要に応じた計算, 6
- 比率計算, 6
- 比率の計算, 6
- プリセット
 - 削除, 12
 - 編集, 12
 - 名称変更, 12
- 分割, 13
 - 均等分割, 14
 - タイルの選択, 15
 - タイルの編集, 15
 - 特定のタイルの出力停止, 16
 - リセット, 17
- 分割のリセット, 17
- ポート, 23
- ま-
- メディアサイズ, 8
- メディアのサイズ, 8